

### 災害時のアレルギー疾患対策における多職種連携の研修会内容（案）

#### 1 目的

災害時には、アレルギー疾患を持つ人々は、食事の制限、避難生活のストレスなど、健康面への様々な悪影響が懸念され、アレルギー疾患が悪化する可能性がある。そのため、避難所設置主体である市町村と各種支援団体等（JDA-DAT、DMAT、JMAT 等）の多職種が連携し、安全・安心な避難生活を送れるように支援することが重要になる。

しかし、多職種と連携し、安全・安心な避難生活を送れるように支援するには、平時から市町村職員が各種支援団体の役割を理解しておくことが必要になる。

そこで、それぞれの支援団体の役割を理解し、どのような連携を取ることが望ましいのか知るために研修を行う。

#### 2 対象者

市町村職員、各保健福祉事務所職員、本庁関係各課、県栄養士会会員、県薬剤師会会員等

#### 3 開催方法

WEB開催

#### 4 内容（案）

##### ①災害時における体制整備について

（DMAT の方から、市町村や保健福祉事務所の役割、発災からの時間経過とともにどんな問題が起きるのか等についてお話いただく。）

##### ②災害時におけるアレルギー患者への食事の対応について

（JDA-DAT の方から、災害時におけるアレルギー患者への食事の対応についてお話いただく。）

##### ③災害時におけるアレルギー患者への薬事対応・医薬品供給等について

（薬剤師の方から、災害時におけるアレルギー患者への薬事対応等についてお話いただく）